

めぐりアート静岡 2018

4つの会場をめぐる、アートの散策。

10/23^{FRI} - 11/25^{SUN} 観覧無料

※月曜休館
※他会場は11/11(日)閉幕

「めぐりアート静岡」は、今を生きるアートを紹介する展覧会です。静岡大学を中心に2013年から始まり、6回目を迎えます。静岡から芸術を発信する場の創出を目指して、今年は市内4か所で開催します。会場をめぐりながら、海外を含む8人の多彩な表現に出会うことで、見慣れたまちが違って見えるかもしれません。

杉山功は1983年イタリアに渡り、良質な大理石の産地として知られるカッラーラのアートアカデミーに入学。以来ずっと彼の地で制作している。大理石にときに木を組み合わせたその作品は、イタリア語で「SANTUARIO」(聖域)と題される。地中海世界の晴朗な石の文明と八百万の日本の木の文化—悠久の二つの流れが、静謐な造形のうちに思索されている。



杉山功《SANTUARIO No.420》2017



杉山功《SANTUARIO No.363》2013



杉山功《SANTUARIO No.369》2013

静岡市美術館 エントランスホール

すぎ やま いさお
杉山功

彫刻家/イタリア カッラーラ在住

アーティストトーク 参加無料 申込不要

11/25^{SUN} 14:00~14:40



会期中、4つの会場すべてのスタンプを集めた方、先着100名にオリジナル「めぐりノート」をプレゼント！静岡県立美術館、静岡市美術館、中岡助文学記念館の会場にて引き換えができます。

◆その他会場情報

<http://megururi.net>

「めぐりアート静岡2018」

広報用画像申込書 Fax:054-273-1518 Mail:info@shizubi.jp

静岡市美術館 画像貸出担当:大庭・岡田 Tel:054-273-1515

「めぐりアート静岡2018」の広報用画像(①~③)を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、上記FAX番号、もしくはEメールでお申込みください。

①展覧会タイトルロゴ



②杉山功作品画像



杉山功《SANTUARIO No.420》2017

③杉山功作品画像



杉山功《SANTUARIO No.424》2018

御社名 _____ (ご担当者名)

貴媒体・番組名 _____ 掲載予定日 _____

〒 _____

ご住所 _____

TEL _____ FAX _____

E-mail _____

備考 _____

広報用画像の使用に関するお願いとご注意

- *1 作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。部分使用やトリミングされる場合は事前に確認をさせていただきます。
- *2 ご使用の際は、必ずクレジットを明記してください。
- *3 作品の画像のご使用は本展の告知を目的とした記事・番組に限ります。また、本展終了後の掲載、放送などは原則としてご容赦願います。
- *4 デジタル画像は全てjpgです。ご送付の手段についてはメール送信となります。
- *5 ご掲載紙・誌を1部御寄贈いただけますようお願いいたします。

【画像貸出、記事校正、本リリースについて】静岡市美術館 大庭・岡田(広報担当) tel.054-273-1515
〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3階 mail:info@shizubi.jp

【イベントの詳細について】めぐりアート静岡2018 HP「お問い合わせ」フォーム(<http://megururi.net/6th/ask>)

主催：静岡大学、静岡県立美術館、静岡市美術館、静岡市、(公財)静岡市文化振興財団

平成30年度文化庁
国際文化芸術発信拠点形成事業



キリトリ

めぐり 静岡アート 2018

4つの会場をめぐる、アートの散策。

10/23 Tue - 11/11 Sun

ヒロバのみ10/20^日から 静岡市美術館のみ11/25^日まで

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ = 白砂勝敏 石上和弘 木下琢朗
 岩野勝人 千葉広一 静岡県立美術館 = 鈴木諒一
 静岡市美術館 = 杉山功 中勘助文学記念館 = ノエル・エル・ファロル

<http://megururi.net>

主催：静岡大学、静岡県立美術館、静岡市美術館、静岡市、(公財)静岡市文化振興財団

平成30年度 文化庁
国際文化芸術発信拠点形成事業



観覧無料

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

いし がみ かず ひろ
石上和弘

彫刻家/静岡市在住



1966 静岡市生まれ
1991 武蔵野美術大学彫刻学科卒業

- 2015 「めぐりアート静岡」静岡県立美術館(静岡)
個展「チョウコクノモリ/チョウコクノヒロバ」
静岡カンントリー浜岡コース&ホテル・カルチャーフロア(静岡)
「神戸ビエンナーレ アートインコンテナ国際展」準大賞受賞(兵庫)
- 2017 「第27回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)」高根県吉賀町賞、市民賞受賞(山口)
個展「アフターアップル」ギャラリーーナユタ(東京)

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

しら すな かつ とし
白砂勝敏

造形家・演奏家/富士宮市在住



1973 静岡県駿東郡長泉町生まれ
1991 田方農業高等学校造園科卒業

- 2008 モンミユゼ沼津(沼津市立美術館)にて初個展(館企画)
その後2018年7月まで企画個展28回 グループ展56回
- 2012.2015 グラフィック社「スチームバンク 東方研究所2.5」作品掲載
- 2014 「渋谷芸術祭 -SHIBUYA AWARD-」ヒカリエ(東京)
- 2015 「第7回 紙のアートフェスティバル」富士芸術村(富士)
- 2016 「紙わざ大賞26」特種東海製紙(東京)
- 2018 「大黒屋現代アート展」板室温泉大黒屋(栃木)

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

いわ の まさ ひと
岩野勝人

彫刻家/京都府在住



1961 徳島県三好郡三加茂町(現、東みよし町)生まれ
1988 京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻 卒業
1990 京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻 修了

- 2008 「IWANO MASAHITO 現代アートによる徳島再見」徳島県立近代美術館(徳島)
- 2012 「隠岐しおさい芸術祭2012」島根県隠岐郡西ノ島(島根)
- 2014 「Erosion/Transfiguration - 侵蝕と変容の先の関係性へ-」瑞雲庵(京都)
- 2016 「めぐりアート静岡」静岡市美術館(静岡)
- 2016 「めぐりアート静岡」東静岡アート&スポーツ/ヒロバ(静岡)('17)

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

ち ば こう いち
千葉広一

美術家/静岡市在住



1967 埼玉県浦和市(現、さいたま市)生まれ
1992 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻 卒業

- 2012 個展「いつか、どこか、きつと」ギャラリーsensenci(静岡)
- 2012 「MAX A5 2012」KONTORS Galleri(デンマーク)
- 2013 「写真新世紀2013」佳作 東京都写真美術館(東京)
- 2014~2016 静岡新聞日曜版に詩人平田俊子のエッセイ挿画として作品連載(全88回)
- 2016 「めぐりアート静岡」旧マッケンジー住宅、東静岡アート&スポーツ/ヒロバ(静岡)
- 2017 「めぐりアート静岡」東静岡アート&スポーツ/ヒロバ(静岡)

東静岡アート&スポーツ/ヒロバ

き した たく ろう
木下琢朗

彫刻家/掛川市在住



1977 静岡県御殿場市生まれ
2000 東北芸術工科大学美術科彫刻コース卒業

- 2005 「富嶽ビエンナーレ」入選 静岡県立美術館(静岡)
- 2007 個展「こだまするカタチ」アートカゲヤマ(静岡)
- 2012 個展「樹の声を聴く」春野山の村(静岡)
- 2014 個展「生気遠出」ギャラリーYellow Passion(静岡)
- 2016 「めぐりアート静岡」中勘助文学記念館、旧マッケンジー住宅(静岡)
- 2018 個展「刀耕火種〜森のたねのゆくえ〜」ギャラリー志門(東京)

静岡県立美術館

すず き りょう いち
鈴木諒一

美術家/東京都在住



1988 静岡市生まれ
2011 多摩美術大学美術学部芸術学科卒業
2013 東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了

- 2012 「EMON Portfolio Review 第1回グランプリ受賞展「郵便機」」
EMON PHOTO GALLERY(東京)
- 2013 個展「観光」EMON PHOTO GALLERY(東京)
- 2014 個展「園」Jundō(東京)
- 2017 「ジャストライト」アキバタマビ21(東京)

photo by TAMAI Miyoko

静岡市美術館

すぎ やま いさお
杉山功

彫刻家/イタリア カラーラ在住



1954 静岡県清水市(現、静岡市清水区)生まれ
1977 東京造形大学彫刻学科卒業('89まで同大研究室に在籍)
1983 カラーラ美術アカデミー(イタリア)入学('90卒業)

- 1987年頃より主にヨーロッパで個展、グループ展多数
- 1992 「新世代日本-イタリア展」ローマ国立近代美術館、日本文化館(ローマ)
- 2010 個展 東京画廊+BTAP(東京)('14)
- 2013 「SINTASSI CONTEMPORANEE」パリス・パッレ市立美術館(マッケーニョ、イタリア)
- 2018 「MICA展」三人展 GALLERY エクリュの森(三島)

パブリックコレクション ローマ国立近代美術館、世界銀行本部(アメリカ)ほか国内外多数

中勘助文学記念館

Noël El Farol
ノエル・エル・ファロル

美術家/フィリピン在住



1961 フィリピン、マニラ生まれ
1984 フィリピン女子大学芸術学部卒業
2004 フィリピン大学ディリマン校卒業(学士 考古学)

- 2016 「フィールドノート:1980~2016」国立文化芸術委員会ギャラリー、マニラ(フィリピン)
 - 2017 「アジア見学旅行プロジェクト:出発編」Edwin's Gallery、ジャカルタ(インドネシア)
 - 2018 「Tirada/版 - フィリピン版画の50年 1968-2018 -」フィリピン文化センター、パサイ(フィリピン)
- 1989から1991まで、日本国文部省国費留学生として静岡大学教育学研究科に留学。その他静岡での活動は、A-Value展に参加(1990,1992)、静岡第一テレビ・スカラザホール(1991)及び、sensenci galleryにて個展(1996,1998,2005,2016)開催。